

高さ表示板の設置はまだか

マップ作成後、年度内に



やま さき まさ お 議員
山崎 正男

答 松本 情報防災課長

本年度計画の避難道、避難場所は、町単独70カ所。都市防災13カ所。漁業集落3カ所である。

問 本年度予定された避難道、避難場所等の計画は順調に進んでいるか。

今年中に高さ表示を設置することであったが、どのような状況か。

被災した場合に津波被害の船舶の補償、家屋等も含めて助成はあるのかないのか。その上限の規模や補助率等はどうなっているのか。来年度に向けての問題は何か。

来年度に取り組む事業や課題はあるのか、防波堤の構想やカプセル構想を聞きたい。

町単独67カ所に着手、うち4カ所の避難道は完成。都市防災では12カ所に着手、うち避難道1カ所は完了。漁業集落は3カ所に着手している。標高マップは、標高50mまでの土地の標高を地図上で表示することで、1筆ごとの確認ができるものを12月中に完成。1月に公開する。

表示板は1月発注で実施し、年度末には126カ所を予定している。

被災の支援は制度を調べて、資料で知らせるように努力したい。

来年度の課題については黒潮町地震防災計画の基本的な

考え方を取りまとめる中で取り組みたい。

防波堤の構想については国が海岸保全施設を整備する方針を決めており、県は高知県海岸保全基本計画を見直す予定であり、これに町の意見も積極的に訴え、反映させていきたい。

先に国土交通省と県の関係部署による佐賀から入野地区までの海岸および河川堤防の視察があり、町が希望する津波防災の補強概要について説明はしたところだ。

津波カプセルはその安全性について確認が得られないのが、現在のところ計画はないが、今後研究はしていく。

地域活性化

町内店舗に
活気を

商品券で
支援している

問 町の活性化やまちづくりの取り組みの考えを聞く。
町内飲食店や販売業の取り組みが必要ではないか、どの

ような対策がされているか。
町内店舗の利用を促し、町に活気を呼び戻すよう機運を高める考えはないか

答 森下 産業推進室長

商工会による地域振興事業として2500万円分プレミアム付きの地域商品券を発行して、支援に取り組んでいる。更に、町内での買い物促進の啓発を商工会と検討していきたい。

その他の質問

- ※猪害対策
- ※児童生徒の安心策
- ※環境対策



完了した佐賀明神地区の避難道整備

